

MONEX Retail Investor Survey



MONEX 個人投資家サーベイ 2011年8月調査

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2011年8月19日～8月22日にマネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、月次で公表しております。

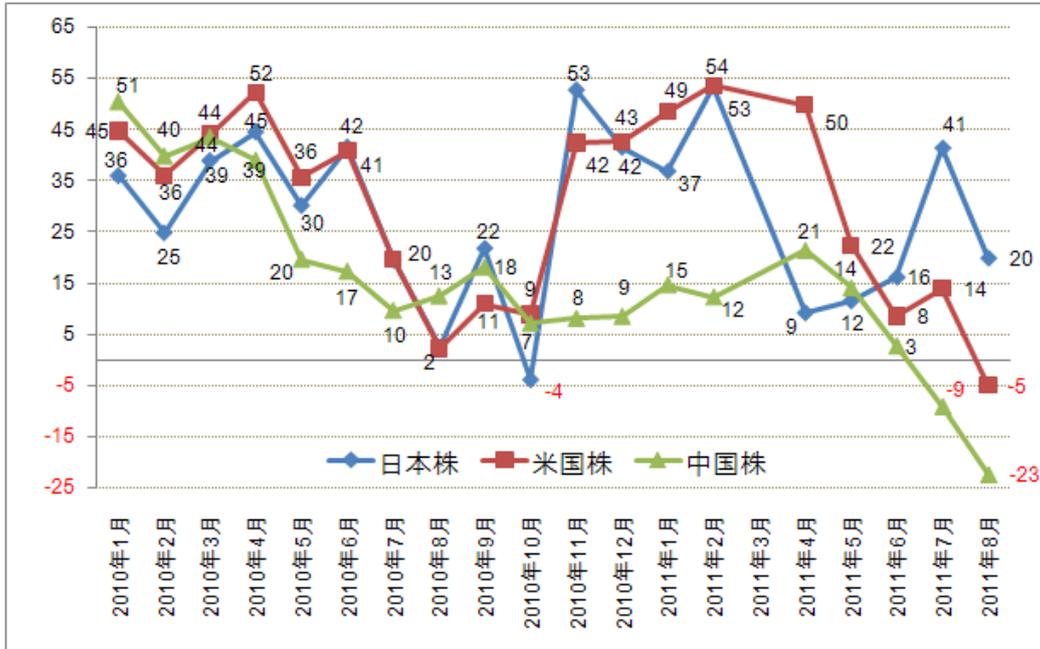
(※2011年3月は東日本大震災の状況を鑑み、アンケートを実施しておりません。)

また、2011年6月より、グループ企業であるトレードステーション証券(米国)、マネックスBOOM証券(香港)の個人投資家の皆様にも、四半期ごとに同様のアンケートを行い、調査結果を「MONEX グローバル投資家サーベイ」として提供しております。

■ 調査結果

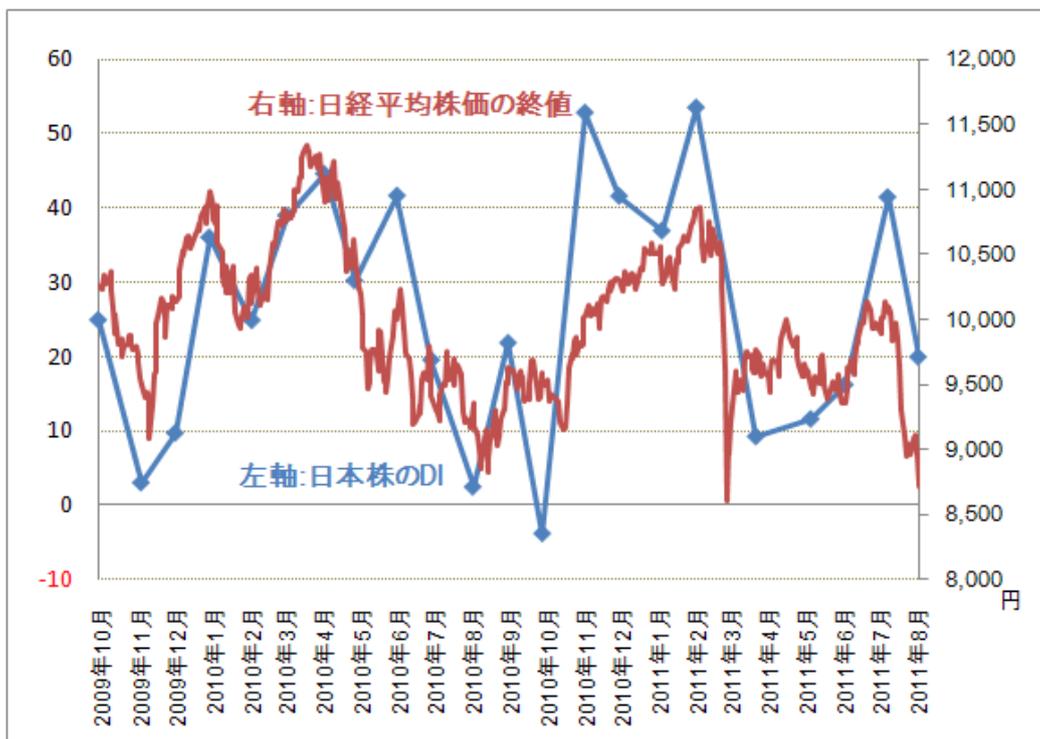
1 株式市場を取り巻く環境について

(1) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本株、米国株、中国株のDI推移）グラフ①



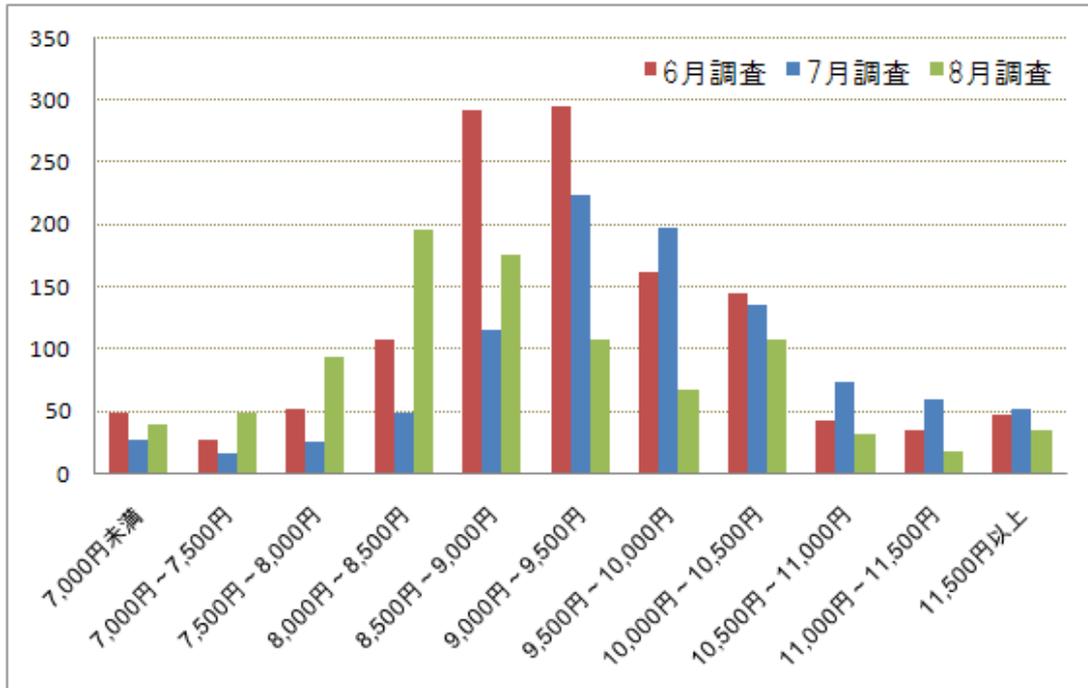
日本、米国、中国株 DI (※) のいずれも下降。日本株 DI は 20 に留まりましたが、米国株 DI は-5、中国株 DI は-23 といずれも過去最低のポイントとなりました。(※DI:「上昇する」と回答した%から「下落する」と回答した%を引いたポイント)

日経平均株価（終値）と日本株 DI の推移 グラフ②



(2) 日本株を買いたい水準

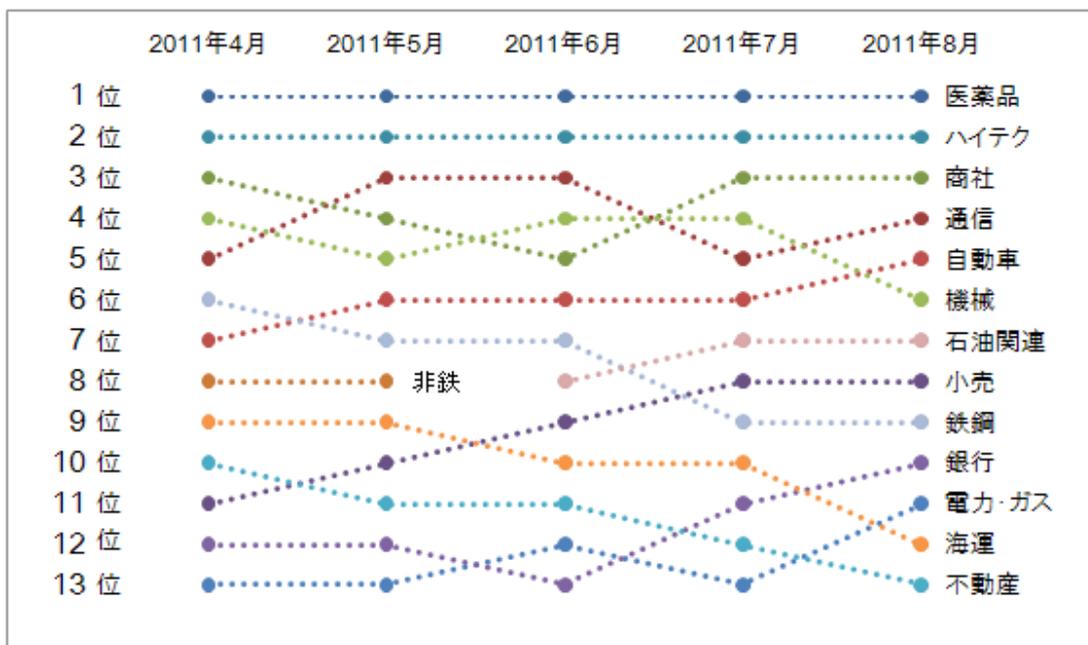
日経平均株価がどの水準であれば、日本株を買いたいと思うか グラフ③



日経平均株価の下落とともに、日本株を買いたい水準を 8,000 円～9,000 円とする回答が増加しました。

(3) 日本市場の各業種に対する今後 3 ヶ月程度の見通し

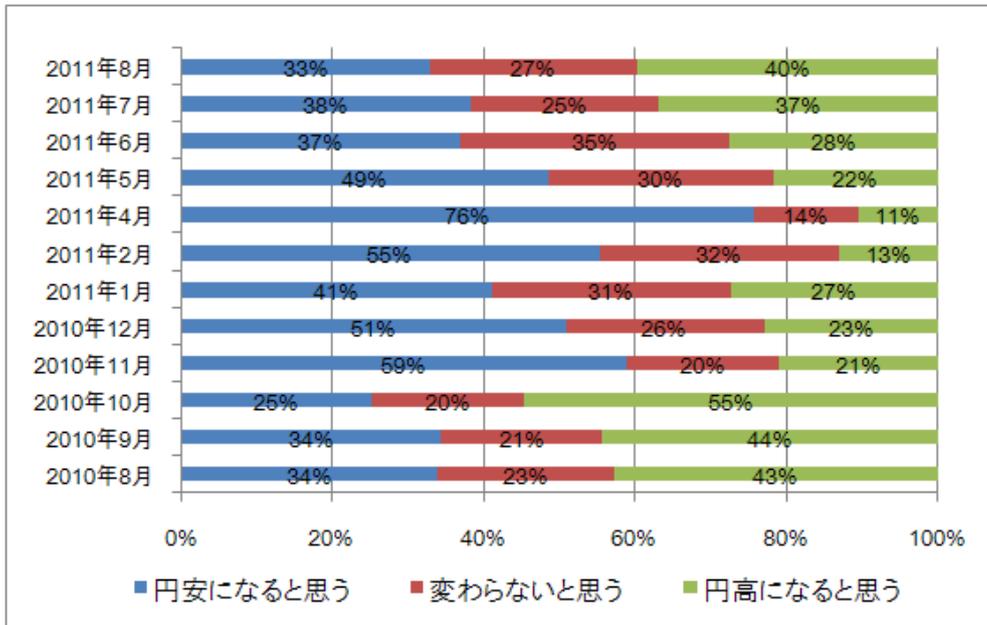
日本投資家の「魅力的であると思う業種」ランキング グラフ④



1位の医薬品、2位のハイテク、3位の商社は前月と変化なし。通信、自動車、銀行はいずれも前月から1つ順位を上げ、機械、海運については2つ順位を下げ、さらに不動産については、最下位の結果となりました。

2 為替市場について

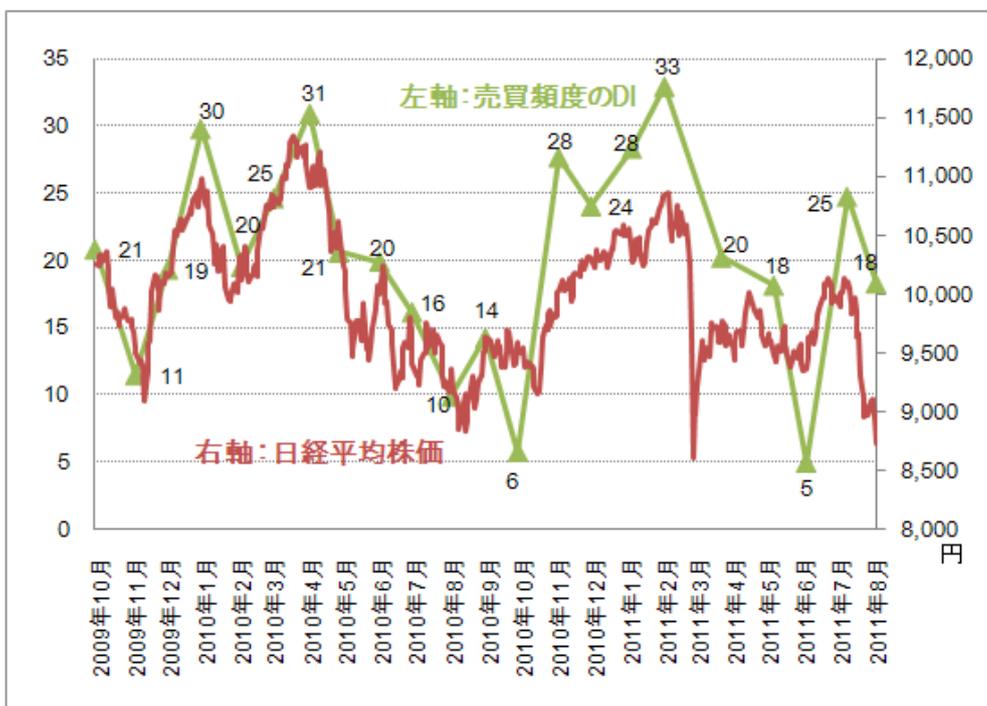
今後の3ヶ月程度の米ドル/円相場予想 グラフ⑤



ドル円相場が最高値を更新する状況でも、円高見通しが40%と意外に増加しませんでした。

3 お客様の日本株取引について

今後3ヶ月の投資意欲について グラフ⑥



投資意欲のDI (※) は前回調査結果の25から18へと下降しました。(※DI: 売買頻度を増やしたいと回答した%から売買頻度を減らしたいと回答した%を引いたポイント)

■ 総括

マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 広木 隆

今月のサーベイでは株式市場の先行きに対して、日本株、米国株、中国株で見方が分かれました。米国は-5、中国は-23 と過去最低を記録したのに対して日本はプラス 20 にとどまりました（グラフ①）。米国の-5 という DI は納得的です。今回の世界的な株安は欧米の財政問題が発端でした。震源地のひとつである米国の株式市場の先行きに個人投資家が慎重な見通しを示したのはもっともだと思います。中国の-23 という DI は理由を推測しかねています。上海総合指数が節目の 2,500 ポイントすれすれの位置にあり、ここを割り込んだら下値の目処がつかなくなる不安感を表しているのかもしれませんが。

一方、日本株の DI プラス 20 をどう捉えたらよいでしょうか。このアンケートを実施した 19 日の日経平均は 8,700 円台。昨年 8 月の安値も下回ってしまいました。昨年 8 月の DI は 2 とマイナスに転じる寸前まで低下、サーベイ開始以来の低さでした。現在はその時よりも低い株価に加えドル円相場も比較にならない円高水準で膠着しています。市場心理としては昨年より悪化しても不思議ではないところですが、先行きに楽観的な投資家が悲観的な投資家よりも全体の比率では 2 割も多いのです。これは日本株の相場が「いいところ」まで来たと投資家が考えていることの表れではないかと思われます。

為替についても同様の結果でした。この先円高を見込む比率は上昇したとは言え、わずかに前月比 3 ポイント程度（グラフ⑤）。ドル円相場が最高値を更新する状況でも円高見通しが意外に増加しません。従来であればこのサーベイはトレンドフォロワーの傾向が強く、その時点の相場の方向性に影響を受けやすいものでした。これだけ円高が進行してくると、円高がさらに進むというバイアスがかかるものと想像していましたが、こちらもそろそろピークに近いと逆張りの発想で市場を見始めているようです。

今回も皆様のご協力により有益な調査結果を得ることができました。皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

（マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 広木 隆）

■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家
 回答数： 1,000件
 調査期間： 2011年8月19日～8月22日

【性別】

男性	女性
83.8%	16.2%

【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳超
0%	4.9%	22.2%	32.4%	20.3%	15.4%	4.8%

【金融資産】

500万未満	500万 ～1000万	1000万 ～2000万	2000万 ～5000万	5000万 ～1億	1億以上
29.0%	23.2%	20.0%	19.0%	6.6%	2.2%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
5.4%	13.2%	29.4%	28.0%	24.0%

【株式投資のご経験】

1年未満	2年～5年	5年～10年	10年以上
8.3%	24.0%	31.3%	36.4%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会